

真

真実を求め
真実を語り
真実を行



令和5年度妻中学校だより

2023年12月

12月号



妻中H.P

校長

伊東 泰彦

この通信の著作権は妻中学校が有します。無断で文章・画像などの転載を禁じます。

コスモス授業（人権学習）を行いました！

12月4日～の人権週間に合わせ、本校では人権について理解を深める学習「コスモス授業」を毎年行っています。今年も12月12日に、車いすのシンガーソングライター！真北聖子さんにお越しいただき、トーク&ライブを行いました。この日をより有意義な時間とするため、前週には全学級で真北さんの生き方を教材とした道徳の授業を行いましたので、生



高1の夏休み、突然の病気によって車いす生活となった後、数々の困難を乗り越えて前向きに生きる大切さを語ってくださいました。



真北聖子さんのトーク&ライブ

徒の皆さんも、真北さんを身近に感じながら差別や偏見、障がいのある方との接し方などについて学びを深めることができました。他にも本校では、新生徒会の執行部が選挙公約をもとにした人権宣言を作成してくれました(右)。また、人権啓発のポスターコンテストや県の作文コンクールでも、たくさんの生徒が最優秀賞をはじめ入賞するなどしています。



▲社会を明るくする運動作文の最優秀賞

矢野遼介君(2年)は、刑を終えた人が明るく生きていける社会にするには、それぞれの人の個性や特長を分かり合うことが大切で、それを可能にするのが「地域のチカラ」と述べました

第77期 妻中「人権宣言」

- 一 豊かな心で一人一人の個性を尊重し、互いに認め合える学校にします。
- 一 笑顔の絶えない明るいあいさつができる学校にします。
- 一 みんなの意見が反映された校則が守れる、メリハリのある学校にします。

宮崎県人権啓発ポスターコンテスト

▼【優秀賞】2年 黒木海音

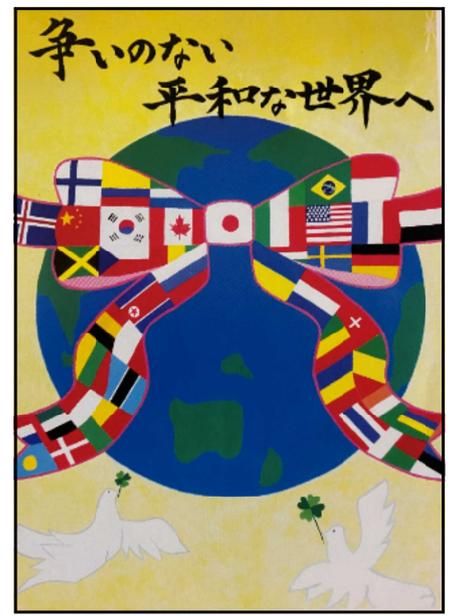


▼【最優秀賞】3年 成合由風



西都市人権ポスターコンテスト

▼【最優秀賞】3年 渡邊ひかり



駅伝・ロードレース大会を開催しました！



12月15日(金)、体育の授業を活用して各学年の駅伝・ロードレース大会を実施しました。冬とは思えない陽気の中、生徒たちは精一杯の走りを見せてくれました。

ロードレースの部				
	1位	2位	3位	
3年女子	小川 雪子	堀地 杏樹	渡邊ひかり	
3年男子	長谷川泰馳	濱砂 侑大	松本 龍成	
2年女子	隈江 侑子	大隅 奏琉	坂本 萌香	
2年男子	木本勢志郎	竹次 蓮	中武 龍基	
1年女子	草留 雫	米良苗乃花	工藤 茜希	
1年男子	増田 朝光	黒木 幸輝	沼口 依露	
駅伝の部				
3年	1位…2組 / 2位…4組			総合1位 1年4組 33分00秒
2年	1位…4組 / 2位…5組			
1年	1位…4組 / 2位…5組			
区間賞				
1区	小畑 めぐ・1年4組 (5分32秒)			
2区	比江島伊吹・3年3組 (4分51秒)			
3区	黒田梨鈴花・1年4組 (5分54秒)			
4区	富田 宗暉・3年1組 (4分55秒)			
5区	宮野原玲奈・1年5組 (5分26秒)			
6区	三宅 桜虎・1年4組 (4分51秒)			

妻中応援団の皆様、ありがとうございます！

12月16日(土)、PTAの方々(生徒会長斎藤君も参加)が恒例の門松を作って校門に設置してくださいました。門松には本来「神様を招く目印」としての意味がありますが、本校にたくさんの招福があることと思います。ありがとうございます。



▲校門に設置された門松



▲菜の花を植える生徒たち

その他の県表彰受賞者

■中体連秋季大会陸上

女子800m 一位・松岡茉莉明(2年)

■JA共済小・中書道コンクール

条幅の部：市町村教育委員会連合会長賞・本部佑佳(2年)

半紙の部：金賞・兒玉心花(3年)

三真の轍わたち

「西都原の魅力」再考

今年も西都原の菜の花植え付けボランティアに、三年生有志が参加してくれました。その数日前、三年生数名と対話する機会があったのですが、複数の生徒が「西都原で好きな所はやはり西都原ですね」と話していたのを思い出し、改めて西都原の一面の菜の花について考えてみました▼この景色は、1993年に某ビールのCMで脚光を浴びました。俳優の仲代達也が井上陽水の「五月の別れ」の曲に乗り、真つ青な青空の下に広がる一面黄色の菜の花畑を歩きながら、だからこそ、令和の今もたくさんの方々ボランティアに集って下さるのだと思います▼空の青と大地の黄色が対比的に広がるこの景色は、実はウクライナの国旗のモチーフであり(ウクライナの青空の下に広がる黄金の小麦畑【下写真】がモチーフ)、今なおこの地で戦乱が続いている現在においては「平和について改めて考えるための景色」とも言えそうです▼実は今年の初夏、同じメーカーのCMに再び西都原が登場しています。なぜか古墳の横に据えられた蔦(つた)のブランコに乗って、ギターを弾く星野源と、その横で多部未華子が発泡酒を飲んでるシーンは、新緑の西都原が、どこか外国のような印象を醸し出しています。西都原は季節によってその姿を変えますが、それをどう切り取るかでその魅力は無敵大のようです。この秋、本校の生徒たちも西都原の景色を切り取ってキャッチコピーをつけるポスター制作に取り組んでくれました。次号で紹介したいと思います。(校長 伊東泰彦)



西都原(左)とウクライナの景色(右)